

## 第17回 丸山地区及び和田地区学校再編検討委員会合同会議 会議録

日 時 平成26年7月1日(火)  
午後7時から午後8時50分まで  
場 所 丸山公民館 2階 大会議室  
出席委員 丸山地区18名 和田地区20名  
欠席委員 月原委員 街風委員 春原委員  
山本委員  
傍聴人 2人

### 1 開会

ただ今から、丸山地区及び和田地区学校再編検討委員会第17回合同会議を開会いたします。

### 2 委員長挨拶(丸山地区委員長)

こんばんは。皆様方には1日のお仕事の後で大変お疲れのところと思いますが、このように会議に大勢の方に御出席をいただきまして誠にありがとうございます。本日までに関係者の方や、あるいは地区の方々の意向を集約する作業等に御尽力をいただいたことと思います。誠にありがとうございます。本日はそれらを基に有意義な協議ができますように皆様方の御協力をよろしくお願いいたします。

### 3 教育長挨拶

こんばんは。お集まりいただきありがとうございます。今、委員長がおっしゃりましたように、今日の会議に向けてそれぞれ準備させていただいたと思います。特に小学校においては、それぞれのPTAごとに意見集約ということで大変御苦労があったかと思います。お礼申し上げます。それを踏まえてまた今日、積極的な協議をしていただくようお願い申し上げます。御挨拶とさせていただきます。よろしく申し上げます。

### 4 報告等

第16回の学校再編検討委員会合同会議を平成26年6月3日に行い、この時の出席委員は、丸山地区19名と和田地区20名となっております。

第16回会議は、今年度初めての会議であり、検討委員等の交代もございましたので、議事に入る前に地区学校再編検討委員会の組織や役割等について簡単に説明をさせていただくとともに、これまでの検討内容や経緯について報告をさせていただきました。

次に、議題の第1号「段階的な統合の検討について」検討をしていただきました。事務局から資料3の「小学校児童数推移見込み」により、両地区の状況について説明をさせていただきました。その内容は、児童数が年々減少し、丸小学校と和田小学校では複式学級になる可能性が高いことや、極端に男女のバランスが悪い学級が目立つというものとなっております。極端に男女のバランスが悪いことについては、地区説明会等でも丸小学校の保護者などから御意見をいただいておりますので、段階的な統合について検討することとなりました。そこで、それぞれの幼小PTAから御発言をいただきました。丸幼小PTAでは、地区説明会等でそのような話が出ていたので、全家庭を対象にアンケート調査を行い、その結果について報告がございました。全家庭

50軒程度のうち回答があったのは10件で、段階的な統合について賛成する意見は9件とのことでしたが、回収率が低いため、これをもって丸幼小PTAの総意とすることは難しいことから未回答の家庭に再度回答を依頼し、意見集約をしたいという報告となっております。南幼小PTAは、丸幼小PTAの意見を聞き、持ち帰ってアンケート調査等により意見集約をしたいという御意見となっております。和田幼小PTAは、校舎の老朽化などが早急な課題となっているが、統合が何度も行われることについては、子供たちへの負担などが心配されるため、持ち帰って検討したいという御意見となっております。そのほかの委員からは、段階的な統合を検討するに当たって、学校再編の一番のコンセプトは子供たちの命を大切にしたいということだったので、海拔が高いところから低いところへ移ることについては、慎重に検討した方が良いという御意見をいただいております。事務局からは新しい校舎ができるまでの間は、現在の校舎を使用しなければならないため、避難訓練などにより万全を期していくことの説明をさせていただいております。

報告は以上となりますが、委員の皆様には前回の会議録を事前に送付させていただきましたので、本日の会議にて御承認をいただき、市のホームページに会議録を掲載したいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、配付資料の確認をさせていただきます。

(配付資料及び追加資料の確認)

ただ今、前回第16回会議の結果報告、また会議録の調整をいたしました。何かございましたら御発言をお願いします。

(異議等なし)

それでは、会議録につきましては御承認をいただきましたので、市のホームページで公表するというように進めていきたいと思っております。続きまして、次第5の議事に移ります。南房総市地区学校再編検討委員会設置要綱第7条第1項の規定により委員長に議長をお願いいたします。慣例によりまして、合同会議につきましては、交互に議長をお願いしております。今回は丸山地区の委員長に合同会議の議長をお願いいたします。なお、本日の会議に際しまして、傍聴の申し出がございましたので報告いたします。

委員長       それでは、設置要綱第7条第4項の規定により、会議は公開とすることになっておりますので、傍聴を許可いたします。

(傍聴人入場)

本日の出席委員数は、丸山地区18人、和田地区20人です。両地区ともそれぞれ過半数に達していますので、会議は成立いたします。

それでは議事に入ります。「(1) 段階的な統合の検討について」を議題といたします。事務局の説明を求めます。

事務局       それでは「(1) 段階的な統合の検討について」を説明させていただきますが、資料1の「学校等再編スケジュール(案)」を御覧ください。この資料は、段階的な統合をする場合で地区説明会を行うことを前提としたスケジュール(案)となっております。まず、地区学校再編検討委員会に係る項目についてですが、会議については、7月16日頃に地区説明会資料の検討をしていただきます。この会議では、基本的合意事項の学校位置、再編期日、校名について検討していただくこととなります。次の会議は、

8月11日頃に地区説明会を行った結果について検証し、専門部会員の選出依頼及び意見具申の内容について検討していただきます。翌日の8月12日頃に、委員長と副委員長により意見具申書を教育委員会に提出していただき、8月25日頃に専門部会を設置する会議を行う流れとなっております。専門部会につきましては、通学支援部会とPTA部会を設置し、学用品部会とカリキュラム部会については、学校間で調整していただくことで考えております。また、校歌・校章については、両地区の統合小学校が完成するまでの間となりますので、それまでは現在ある学校のものを使用することで考えております。次に会議報告、説明会についてですが、区長会への説明は状況にもよりますが、11月頃に事務局で行うことで考えております。また、地区説明会については、8月7日頃を予定し、再編検討委員に出席していただくこととなります。地区説明会の周知は、回覧等により行いますので、周知期間として2週間程度をみております。次の議会と教育委員会の関係については、事務局で行うこととなりますが、議会関係では12月定例議会に学校の位置などの条例改正や補正予算を上程し、3月定例議会で報告したいと考えております。また、教育委員会関係では県の教育委員会に1月下旬に閉園・閉校届けを提出し、市の教育委員会には10月の定例教育委員会に条例改正や補正予算を上程したいと考えております。最後に学校関係となりますが、閉校事業につきましては、必要に応じて閉校実行委員会を設置し、記念行事や記念誌などについて検討していただきたいと考えております。また、閉校式につきましては、3月下旬に行うことになるとは思いますが、再編検討委員に出席していただくことで考えております。資料1の説明は以上です。

委員長 　ただ今、事務局から「(1) 段階的な統合の検討について」、学校等再編スケジュール(案)の説明がありました。地区ごとの段階的な統合については、前回の第16回合同会議において、それぞれの学校で意見集約に努め、その内容について発表いただき、本日の会議で検討することとなっています。それでは、丸小学校、南小学校、和田小学校、南三原小学校の順に報告をお願いしたいと思います。

委員 　丸幼小は、前回の会議の中で、再度アンケートを採るということでお話したとおり、先月、全校を対象にもう一度アンケートを採りました。その結果を報告したいと思います。全家庭が丸幼小としては65戸あり、その内返答が48件ありました。回収率としては73.8%で7割を超えました。意見の採り方としては、今回は、「賛成・反対・どちらともいえない」という選択肢を出しまして、そのいずれかに「○」を付けてくださいというかたちで採りました。その結果、賛成が33件、反対2件、どちらともいえない13件で、「賛成」の割合としては約68%、「反対」は約4%、「どちらともいえない」は約27%という結果になりました。この結果をもちまして、丸幼小としましては、この段階的に統合していくという案に賛成、またこの方向で進めていきたいというのが丸幼小の総意として採られたとっております。

委員長 　ありがとうございました。続いて南幼小お願いします。

委員 　南幼小は、前回の会議を持ち帰りまして、6月12日から19日の間で段階的統合に関するアンケートを実家庭数で採りました。全部で114軒ございまして、97件

の回答を得ました。回収率は85%でございました。アンケートの方式といたしましては、「段階的統合を検討して良い」という選択肢と、「段階的な統合をせず4校の統合1回で良い」という選択肢、あとは「どちらでも良い」という選択肢の三つの中から一つを選んで下さいということプラス、御意見があればということで採った次第でございます。アンケート結果につきましては、「段階的な統合を検討して良い」というのが、97件の回答のうち69件ございまして、割合で71.1%、「段階的な統合をせず4校の統合1回で良い」というのが15件で15.5%、「どちらでも良い」という意見が13件で13.4%でございました。意見等がありましたので、ごく一部、代表的なものを紹介したいと思います。

まず、「段階的な統合を検討して良い」という意見につきましては、「4校統合の1回でなく、丸山、和田地区それぞれの段階的な統合を進めた方が子供たちの困惑も軽くなるのではと思う。統合前の保護者の交流の機会も持てればなお良いのではと思う。」「子供たちの数が年々減少していることは事実なので、段階的に統合していくのが良いと思う。」「新校舎を建てることは時間が掛ることであり、早急に建設ができるのであれば、段階的統合でなく、4校統合の1回で良いと思いますが、約5年となると長いと思う。」、ということで、段階的な統合をとる意見でございました。また、「段階的統合をせず4校の統合1回で良い」という意見につきましては、「現時点では、統合条件等分かるはずもないが、それが分からない段階では、統合を検討しても良いとは言いきれない。分からないという選択肢があれば良かった」という意見、また「段階的統合としても、これからいろいろ決めなければならないことが多く、2年くらい掛かってしまうのではないか。その後また2～3年で統合というのも、ものすごく労力が掛るのではないか。4校統合が5年くらいで決定しているのなら統合しなくても良いと思う。」という意見がございました。また、「どちらでも良い」という意見につきましては、「できれば1回の統合が良いと思いますが、男女比、児童数を考えると、早急な対応が望ましいと思い、どちらでも良いという意見です」、「どちらでもメリット・デメリットがあると思うので結論を出すのは難しい。統合後も今までと同じような少人数学級で手厚い教育が受けられるなら良い」、「子供の人数も大切ですが、やはり子供たちの津波等安全面が一番大事だと思う」というような意見がございました。他にも多数意見がございましたが、代表的な意見は以上のとおりです。南幼小といたしましては、7割の方が検討しても良いというような御意見でございましたので、南幼小の総意といたしまして報告をさせていただきます。

委員長  
委員

ありがとうございました。次に和田幼小お願いします。

和田幼小は段階的な再編をどのように考えるかを議題に、6月27日に臨時総会を開催しました。全65家庭の内、23家庭から委任状、35家庭の出席で総会は成立しました。前回、この会議でいただいた資料1、2、3を配付し、説明させていただきました。出席35家庭で話し合い、採決の結果、「段階的再編に反対」が28票、「決断できない」が4票、「賛成」が2票、和田幼小としては、段階的再編には反対の考えで、今後の議論を進めることとしました。

委員長 ありがとうございます。次に南三原幼小お願いします。

委員 南三原幼小といたしましては、先だっでの会議の結果をうちと学校の方で報告書とかたちで作らせていただいて、段階的な統合について御意見がありましたら意見等をいただきたいということで各家庭に配らせていただきました。特別、臨時総会を開くとか、そういったことは混乱を招くのではないかとということで、意見のある家庭の方に、素直な意見をくださいということで意見をいただきました。その中でいろいろ意見があったんですが、南三原幼小としては、段階的な統合をするよりも、現状のまま、避難訓練等をしっかりやっていますので、児童数の見在目での減少というのは、5年先のできるであろう学校に際して、そこまで早急に合併を急ぐよりは、5年先にできるであろう新校舎、海拔の高い所にできる新校舎に向けて、より良い学校を造っていただくために、皆さんとお話し合いの上で進めていけたらと思います。

委員長 ただ今、PTAの代表の方から、丸、南、和田、南三原の各学校の報告をいただきました。ありがとうございます。お聞きのとおりでございますが、丸山地区においては、段階的な統合を検討していくとするという方向に聞こえたと思います。また和田地区においては、段階的な統合については、特に検討はしない、そこまでの意見集約がされていないということで、段階的な統合については特に考えていないという報告があったと思いますが、この報告をお聞きになって、何か御意見のある方がおりましたら、どうぞ出していただきたいと思います。あるいは、質問でも結構です。ございませんか。

委員 私は、初めてこの「段階的な統合」という言葉を聞いたのが前回だったんですが、もう事務局からは資料1のような非常に細かなスケジュールも出ておりますし、それから4校で行ったアンケートの中でも、賛成が何人だの、反対が何人だのと出ています。私、分からないのは、「段階的統合」という意味が分からないんですけども、どういうことなんですか。どういうことだと思ってこれから話し合えばいいんでしょうか。例えば、南小と丸小が一緒になることなんですか。その辺を皆で共有しておかないと。それから、アンケートを採られた方たちは、それぞれ説明はどのようなかたちで採られているんでしょうか。

委員長 今回の委員の質問ですが、まとめられた方の方で。

委員 丸幼小です。1回目のアンケートの時は、4月のPTA総会がありまして、総会の中である程度の説明を私の方でしました。3月の時の地区説明会で、丸幼小の父兄から、こういった意見が挙がってきたので、PTA総会で、意見を採りました。前回は、先月だったんですけども、授業参観と親子レクで、父兄がたくさん集まる機会がありましたので、臨時のPTA総会ということで父兄の方に集まさせていただきました。そこで、デメリットといいますか、統合することによってこういったことが考えられますよというところを少しお話ししました。例えば、「今までよりも通学時間が少し長くなる可能性がありますよ」、あるいは、これはどのようなかたちになるかは分からないんですけども、「丸小・南小が仮に一緒になったとした場合に、もしかすると丸小がなくなるというか、閉校することも考えられますよ」、あるいは、前回の会議の中でも

話が出たんですけれども、「南小は丸小より海拔が低い地域に行くことになりますので、そういった再編検討委員会でも海拔の問題がいろいろ挙がっていたんですけれども、海拔の低い地域に行くことに対しても抵抗はないですか」とお話をした上で、もう一度アンケートを採らせていただきました。その結果が先ほど報告したとおりです。

委員長 委員、今の説明、あるいはほかの方からも伺いますか。他の方で委員の質問に答えていただける方がおられたら。

委員 南三原幼小です。私も今年度からこの会議に出させていただいたんですが、前回のこの会議で私も初めてこの段階的な統合という言葉を知りました。今までは、長い期間、いろんな委員が再編検討委員会に出させていただいているというのは承知してはいたんですが、自分がその立場になって初めていろんなことを聞いたりもし、新聞報道にもあったように、平成30年でしたっけ、新校舎を嶺南中隣接地に建設するというような報道が房日新聞に出ましたが、当然、その会議だと思ってこの会議に出たんですが、ぱっとその段階的な統合ということに、各学校で意見集約をしてくださいますかというかたちになったんで、正直、戸惑ったというのが、私の正直な意見です。それで、学校の方で、前回の会議のざっくりとした説明を各家庭に配り、意見書、アンケートを採らせていただいた上で、段階的な統合というのは南三原幼小としては考えないという答えで、先ほどお答えさせていただいた次第でございます。

教育長 教育委員会の考え方ですが、そもそも南房総市全体のこの再編というのは、子供が少なくなり、複式学級ができたり、あるいは1学級10人以下で男女のバランスも悪いところが出たり、そういう現実がありますので、それらの教育環境としては適当ではないという判断で、再編計画に従って進めているわけです。富山、富浦、白浜、千倉と再編をしてきましたが、そちらの方は、校舎を新しく建てて統合というのはありませんでしたので、統合という結論が出たらすぐに新しい校舎に入って、子供たちが少ないというそういった問題が解消できる。新しい環境で学習できるような、そのような状況でやってきたわけですね。千倉は健田小学校に4校全部入りますので、結論が出た次の年度では、健田小学校を使って、千倉小学校ということでスタートできました。ただこの丸山地区と和田地区につきましては、4校統合という結論が皆様方の協議の中で出てきたわけですが、その新しい校舎ができるまでに早くても5年間掛かるということですね。早くても5年間掛かるわけですので、その間は、少ない人数のクラスだとか、そういった問題は5年間そのまま継続していく、その間には、私どもの想定では、丸小学校と和田小学校は複式学級ができてくる。あるいは現実に今、前から私どもも話は伺っていますけど、丸小学校では男の子が10人、女の子が0人というような学年もある。そういうような声が聞こえてきて、現実としてあるわけですね。こういう問題を一番当初のそういうような子供の数が少なくなってきて非常に困っている状況がある。それを解消するために再編だということで結論が出たんですけど、そのような環境を作るには、この地区については最低5年掛かる。そうすると、待てない状況があるとすれば、新しい学校が出来上がる5年後、早くも5年後ですけど、それまでの間、待つのか、あるいは別な「段階的」という表現をしていますけど、

4校の内、2校同士で統合して、子供の数を増やすような方法を採用するのか。私どもとしては、段階的な統合を何が何でもやろうという考えはありませんので、保護者の皆さんの総意がそういう方向でしたら、私どもはそういう方向で努力をしていきたいと思っております。それで、前回の会議、今日の会議とお願いしたところでございます。ちょっと長くなりまして申し訳ありませんけど。

委員長 委員の方は、ただ今の説明でよろしいですか。あるいは、いただいた説明でよろしいですか。

委員 はい。

委員長 それでは、そちらの方どうぞ。

委員 和田幼小です。先ほどの委員の御質問に対してお答えするかたちになりますが、今、教育長がおっしゃられたように、和田幼小に関しましては、和田小学校の校舎の老朽化と、耐震強度が法令値に満たない校舎であるということが、PTAの中で懸案事項として出ていました。そのことを説明した上で、向こう5年間、この校舎を使うのかどうかということをPTAに決断をしていただくというかたちを採りました。その中で、「段階的再編をしない」ということに決定した理由としては、「再編を何度も行うことは児童にとって大変な負担であるということを考える」、もう一つは、「校舎の耐震強度に対する不安はありますが、文部科学省が平成23年6月8日付けで発表した東日本大震災における学校施設の被害状況等の資料によると、震災以前の耐震強度の校舎でも、震度7で倒壊被害による死亡事例はなく、死亡原因は津波被害がほとんどであった。よって津波避難場所が確保されて、高さがある等の理由で和田小学校で問題ないと判断した」ということで、段階的な再編を特にしなくても良いのではないだろうかという結論に至っています。そして補足ですが、今、段階的再編に反対する方の意見を申し上げたと思うんですが、「決断できない」と判断した方々の4名の内3名の方が、「雨漏りがひどいので、この校舎のままで良いとはいえない」といった理由でした。1名の方は、「発表されている耐震強度が保たれているのかも確信できない。最新の検査結果を見てから決めたい」といった御意見です。つまり、児童の負担は避けたいのだが、本当にこの学校にいてもいいのかということ、不安に感じているというような御心境だと思います。あと、段階的再編に賛成の方からは、1件の御意見がありまして、「児童の数が少なすぎるので、なるべく早く再編合併した方が良い」といったものでした。

委員長 ありがとうございます。今、和田小学校PTAの方々の、先ほどの説明と重なるかと思いますが報告ということでお受けしたいと思っております。この報告をいただいた後の皆さん方からの御意見というのは特にございせんか。

委員 いろいろとお答えいただいてありがとうございました。各地区に学校を一つずつ統合するというような内容であるならば、その段階的再編には私は賛成ではないんですが、なぜならば、この委員会の中で、たくさんの努力を委員たちがして、深夜にまでも及ぶくらいの議論に議論を重ねて、それでも結論が出なかったと。そういった中で大人のエゴは捨てようよということで、とにかく両地区の宝である子供たちの幸せを

考えた議論をしていこうという中で4校を1校にということで決まって、平成25年度の最後の最後でしたけれども、一応25年度中には、私たちの思いを載せた具申書を上に提出することができているわけですね。そういった中で、後戻りをするようにね、何とも心が揺れ動いているんですね。委員である私がこれだけ動揺しているということは、保護者であったり、地域の皆さんであったり、一度は4校を1校にと、特に和田地域の委員の皆さん、あるいは地域の皆さんには心を涙しながらも、子供の幸せのためということで、4校を1校でいくんだと、そういうふうに苦渋の決断までしていながらですね、何か後戻りをしているようで私は段階的というのは反対なんです。それで今さっき、教育長から話があったそれらの件については、当然ここにきて始まったことではなくて、私たち委員で話し合う中ではそういったものも含めてどうしようかということで議論をしているわけなので、それを踏まえて4校を1校にしてスタートすることが、子供の心にも負担がないだろうということで始めたのではないかなと思うんですね。こんなふうに後に帰ったり、またこれで具申書の出し直しをしたりみたいなことをしていると、この委員会と地域の皆さん、保護者との信頼関係が全くなくなるんじゃないかなと思うんですね。ですから私たちは真剣に考えた結果が4校を1校、これはいろいろな条件も考えた上でそう決めたことですので、後戻りは必要ないんじゃないのかなと思うんですが。

委員長 今、委員から御意見が出てきましたけど、ほかの方はどうでしょうか。

委員 和田幼小です。今のお話はちょっとなんか違うかなと思うんですけども、統合までの向こう5年間の間をどう過ごすかというのが、この段階的再編のお話だと思うんです。再編することの具申案自体は何の変更もないと理解しているんですが、違っていきますでしょうか。

委員長 ありがとうございます。他の委員の方にこの件についてお伺いしたいなと思いますが。先ほどの委員のお話を聞いていると、段階的な統合はしないでということですね。ところが、今の委員の御意見だと段階的な統合が必要ならばそれは進めてもいいんじゃないかという、そういったことを検討する会議だっておっしゃっているわけですね。余り私は言いたくないんですけど、ほかの委員の方はどうでしょう。先ほど、教育長からその辺の段階的統合に関しての説明がありましたね。その辺を踏まえて、皆さん方の御意見ございませんか。ただ先ほどの報告から見ると、丸山地区の2校については、「段階的な統合を検討していく方向」を報告していますね。和田地区の2校の関係の方は、「段階的統合は検討しない」と報告をいただいたわけですが、それらについては、ほかの方に再度、南幼小どうでしょうか。

委員 南幼小も、6月3日の会議を受けて、その資料等に載っている児童数の推移、また3月の丸山地区の説明会の会議で出ました、男女比のバランスが悪いというような、それだけではないかもしれませんが、この段階的統合という意見が出されたので、本部役員だけでは判断ができないので、皆さんの御意見を聞きたいと思い、140名からの児童、園児がおりますので、実世帯数では114軒でございますが、とにかく素直な意見を聞きたいということで、アンケートをした次第です。一応、この選択肢の



中にもあるように、「検討していくことで良い」ということで、とりあえず検討をさせていただきたいなというふうには考えています。

委員長 丸幼小の方も恐縮ですけど、発言をしてもらってもいいですか。先ほどの委員の御意見を伺っていると思いますので。

委員 丸幼小です。先ほどのお話の中で、親の負担、子供の負担というお話がありましたけども、前回、あるいは今回の意見があったら書いてくださいとお願いして、挙げていただいた意見の中の数件には、「4校を1校に一気に統合すると、親あるいは子供の負担が大きいのではないか」という意見もありました。ですので、全部の方がそのように思っているかは定かではありませんけれども、賛成意見の人の中には、そのような考えの方もいらっしゃいます。

委員長 段階的な統合について、その必要性について、もうちょっと説明ございませんか。丸幼小の立場として。

委員 丸幼小の父兄の中では、先ほど教育長からもお話がありましたけれども、児童数が少ないと、ただこれは丸小に限らないことだと思いますので、ほかの学校でも同じ問題があるので、そればかりが表立ってしまってもいけないのかなと思うんですけど、特に丸小の中での問題点といたしますか、特筆すべきこととしてはやっぱり男女比、1クラスの中での男女差が大きいと。特に今現在の4年生のクラスでは、幼稚園に入園した時から女子児童が1人もいないという環境がずっとここまで続いてきたと。それでそういう意見が学校側、あるいは教育委員会に何度か話が挙がってきているということは耳にしたことがあります。それがまた今回の地区説明会の中で意見として出たんだと思います。

委員長 ありがとうございます。

教育長 さっき委員の方から補足をしていただいた感じになりましたけど、教育委員会の考えとしては、私ども、5年後の校舎建設完了ということで頑張っていきたいと思っています。その5年後に4校が一緒になるという結論は、これはもう皆さん方から意見具申をいただいていますので、これは崩せないものと思っています。崩す考えもありませんので、ですから5年後に4校が一緒になるということは、これはもう皆さん方にも御理解をいただいていると思います。ただ5年後までにそのまま4校でいっているのか、あるいは別の方法があるのかということだけですので、これは皆さん方の話し合いの結論で、4校でいきましょうということなら、それはそれで私どもはそれに従ってやっていきますし、もっと別の方法がいいだろうということで、皆さんが結論を出していただければ、その方向で私どもやっていきたいと思っています。もう一回重ねて申し上げますけど、校舎完成の時に4校が一緒になるという結論は、これは全く変えるつもりはありませんので、これは皆さん方も御理解いただくというか、繰り返す必要はないと思いますけど、私どもはそのような考えでありますので。

委員長 それでは、この段階的な統合の検討について必要かどうかということについての各学校のPTAの会員の方々のアンケートといたしますか、調査において報告していただいたとおりでございますので、どうなるかの結論は別として、検討していったらどう

かというのが丸山地区の方の考えだということが分かったし、和田地区の方の報告によると、統合については特に検討しないという意見の集約ができたように私は聞きとりましたけども、この件については皆さん方、もう御意見はございませんか。

(質疑等なし)

それでは特にないようだと判断したいと思います。それでは、「丸山地区については、今後、段階的な統合を検討していくこととする」、そして「和田地区については、段階的な統合は検討しないこととする」というふうにここでまとめてよろしゅうございましょうか。

委員（男性）はい。

(異議等なし)

ではそのようにまとめていきたいと思います。それでは特にこのことについて異議がないということであれば。

委員 念押しで一つ意見をいいですか。

委員長 では言ってください。

委員 ちょっと気になるので。私、前回、4校統合については子供の命を一番大事にすべきだと、それが筋なんだという話をしたものです。そういう保護者の意見があれば、それはそれで受けとめたいと思いますけれども、丸小の方も南小に行くを受け取っているし、南小の方も丸小が来ると受け取っているようなんですけれども、低い方に行っているのかというその念押しです。その説明はどうされるんでしょうか。ちょっと誰に聞いていいのか分からないんですけど。なぜかといいますと、一緒になっても1クラスなんですよ。どちらの学校にも入れるんです。私は高い方に行くのであれば、もろ手を挙げて賛成しますけれども、低い方に行く理由を聞きたいということです。

委員長 それは、だからどうなんでしょうかね。

委員 それを私が聞いているんです。

委員 南幼小です。今、委員がおっしゃったように、南が丸に行く、どっちがどうのこうのということは一切今の段階では決まっていないと思います。それがまず一つ。それから、私、今年から始めてこの会議に出させていただいて、さっき委員がおっしゃった、今まで何年もかけて検討委員が大変な御苦勞をして、一応4校統合という一つの目標というか、結論を出されたことは素晴らしいことで、それに向かって今後進んで行くんだと思うんですけど、その中で、5年間というのは、どういうところから5年間と出てきたのかなと。今の時代ですから、5年じゃなくても3年でできることがあるかも分からないし、ですからその辺が、僕はこの会議に出させていただいて5年、5年って何で5年なんだろうなというのが非常に大きな疑問で、そういうことがもうちょっと時間的に詰まっていけば、何もそこで2校が統合どうのこうのってことではなくて、じゃあ、もっと急いでやりましょう、3年でできるんじゃないですかというような考え方。これをまた2校ずつやって、えらいエネルギーだと思うんです。特に事務方の方が。ですから、無駄なエネルギーは使わないでという疑問があります。

事務局 ただ今の「なぜ5年間か」というお話でございますが、まず、資料2になりますが、

「丸山地区と和田地区の学校等再編に係る校舎等建設見通し」というかたちで書かせていただきました。項目と年度見通しというかたちですが、大雑把にいいますと、小学校と幼保一体施設を建設していく中で順を追って進めて行きますが、基本設計、実施設計この辺につきまして、今年度から基本設計等に着手いたしまして、その後、実際の設計というかたちになろうかと思えます。基本設計につきましては、建設地の決定ですとか、デザインをどうするかですとか、学校のレイアウト、どこにどういったものを建てる、造るのか、そういった基本的な大まかな構想といいますか、そういったものから進めていくと。同時に土地につきましても、用地の決定をさせていただくに当たりまして、その関係で用地の「測量」、「地質調査」、また周辺隣接地が農地でございますので、農業委員会ですとか諸々の法律等の関係をクリアしていくというようなものがございます。この辺の事務手続きに概ね2年位を要してしまうのかなと。それと、もう1年は用地等、当然、多少の盛土や土地の造成が必要になってくると思えますので、土地の安定ですとか、そういったことである程度寝かすことが必要かなと。それと、最終的に建設に概ね2年間、最短でも2年は掛かってしまうのかなと。以上のことから、向こう5年間というのは、どうしても見通しとしては立ってきてしまうのかなとそのようなことでございます。ただ今、資料2ということで御説明をさせていただきました。

委員長            ありがとうございます。

教育長            補足をしますと、今、富山小中一貫をやっていますけど、あそこは敷地を買う必要がなかったんですが、それでも校舎建設に2年で終わる予定だったんですけども、解体も含めて3年、あるいはもっと掛かりそうな感じにもなっています。それで、今、事務局の説明で最短で5年と、私どもの見通しとしてはそのように考えております。

委員長            委員、よろしいですね。

委員                はい、ありがとうございます。

委員長            先ほど、委員から質問がありましたね。

委員                意見を言っていていいですか。ここの、統合についてのキーポイントが二つあったと思います。今までの検討の中で。

委員長            ちょっと、委員待ってもらっていいですか。先ほど別の委員から意見がありましたね。

委員                意見じゃなくて、あのね、じゃあいいです。

委員長            私の考えですが、丸山地区は先ほど、段階的な統合を検討していくということで話がまとまったので、そういう中で検討する内容じゃないかと思えますので、ここでは議事進行上、ここままで抑えておいてください。

委員                丸幼小PTAの方から、「低い方に行ってもいいのですか」という項目も入っておったんで、そういうことを言わせてもらったんですけど。校舎の規模とか、グラウンドの状況だとか、広さだとか、どう見たって南小の方がいいんですけども、私の筋論として、その説明をきちんとしてから行くということが大事かと思ったので、意見として言いました。

委員長 検討の時にお願いします。今後、段階的な検討をしていくというのは、しつこいようですけれども、「丸山地区は検討していく」、「和田地区は検討しません」ということで、そういうことで決定していきたいと思います。それでよろしいですね。

(異議等なし)

そのほかについて何か先ほど委員から挙手があったようですが。

委員 じゃあ、いいですか。その関係で意見を言っていていいですか。今の関係で。

委員長 どういうことに関しての意見をおっしゃりたいわけですか。

委員 先ほど言いましたけど、統合に関してはキーポイントが二つあったように考えられます。一つは「安全」、もう一つは「少子化対策」、ということで、今、話が、段々段々「安全」のことより「少子化対策」をどうするか、これは丸幼小の方から提起があったわけです。そうすると、子供の少人数化に対してどのような対応を図ったらいいいのかというような話になってきちゃっているような感じがします。だから先ほど、委員の方から「安全」の方はどうなんだと。この前皆さんで協議したやつは、「安全」が第一のキーポイントで4校の統合にしようということで、いろんな地点からこうやって、ちょうど丸山地区の嶺南中学校の隣がいいだろうということになったわけです。それが何か、段階的な統合ということで、その統合の内容が少子化対策の学校をどうするのかというような考えになっちゃっている気がします。そうしますと、丸小は少子化対策をどう考えていくのか。それはいろんな方法があるんじゃないかなと思います。例えば学校間で交流するとか。丸小と南小で交流するとか、また思いきって、例えば学習を、4年生が今、えらくバランスが悪いと、これが南小に行って午前中授業を受けるだとか、何かいろんな方法があるんじゃないかと。何かはき違えているような感じがして、今日の会議に出て、まずたまげたことは、一つは、「学校再編スケジュール(案)」、これ4年間、これ見たら2年間、半年間でこれだけのことをこなせというような、そういうスケジュールを見て、まず驚きました。僕の経験からして、このスケジュールだと3~4年掛かりました。というのは、例えば、丸小が南小に行った場合、これ吸収合併というふうに子供たちは捉えます。またはですね、父兄の方もそう捉えます。例えば子供も、丸小の子が南小に行った時に、校歌は歌えませぬね。歌えないです。校歌一つ歌えと言ったって、歌えないです。それだけの大問題を控えているわけです。例えば、和田小と南三原小がこれも合併した場合、一つの問題を取っても、大変な労力と大変な議論が伴うわけです。そこをもう一度考えて、このスケジュール、それから今日のアンケートでも、口頭でのアンケートではなくて、私たちに納得できるような資料データをまず出してもらいたかったです。口頭で言っても分かりません。本当に資料データとしてそれを出して、今日は協議をして、じゃあ案はこういうふうに考えていきたいと思いますというふうに教育委員会から出てくるのか、ところがもうこれを見た場合、もう2校統合の案でこのスケジュールを半年間で、いや半年もないです。3か月くらいでやりなさいって。そういうことの過密スケジュール、何かもうトップダウンというような見方で僕は捉えたんですけど、そここのところをもう一回、原点に返って協議をしたらいかががでしようか。だから「少子化対策」と、そ

れから「安全」というキーワードが二つありますから、そこのところを協議したらどうでしょうか。

委員 丸幼小です。今、お話されたことはごもっともなことなんですけども、私もそうですし、説明会の中でもお話ししたんですけども、この段階的な統合というのは、「決定事項ではない」ということは父兄にお話してあります。あと、先ほど、いろんなかたちで、もっと違うかたちで解決ができるんじゃないかというお話もあったんですけども、実際に今、小学校の方でも丸小、南小で交流会も行われています。あと先ほど言われた、仮に丸小が南小に吸収合併されるということで、南小の生徒になる、また南小の校歌を歌えないんじゃないかというお話もあったんですけども、それもお話をしました。先ほども言いましたけども、もしかすると、丸小が閉校になる可能性がありますよと。そうすると、今後、皆さんのお子さんが、南小の児童、あるいは、南小の校歌を歌うことになりますよということもお話をした上での皆さんの意見であるということをお理解いただきたいと思います。私も2校が1校になるということを確認しているとか、あるいはもうその方向で進んでいるとは思ってもおりませんし、また父兄の方にも2校が1校になることが決定になっていますよということはありませんからということはお話をしております。ただ、今後、そういう方向で解決できるんじゃないかということで、その段階的な統合が、解決の方法になるかは分かりませんが、そういう案もありますので、その方向で検討していきますということをお話をしております。

委員長 ありがとうございます。委員、よろしいですか。検討していくという方向に賛成するということであって、それが必ず段階的に統合するんだということまでは、確認しているわけではないということの説明をしておりますから、御理解をいただけますか。委員いいですか。

(異議等なし)

それでは、また繰り返しますが、

委員 ちょっと、質問があります。

委員長 段階的統合に関してですか。

委員 はい。

委員長 どうぞ。

委員 例えば、段階的統合を検討する場合に、検討会というのは、この学校再編検討委員会で検討をするんですか。それとも、南小、丸小、和田地区は現状のままということなんですけれども。

委員長 では、私が知っている範囲で、それは、後で皆様方に伺います。その検討の仕方について。よろしいでしょうか。

委員 はい。

委員長 それでは、今のところで念を押させていただきますが、「丸山地区のみが段階的な統合について検討をすること」という事で決定したということで結論を得たいと思いますがよろしいですか。

(異議等なし)

それでは、段階的な統合を検討するのは丸山地区のみであるということで御理解をいただきたいと思います。

今、委員がおっしゃったことですが、今後の会議の開催方法について皆さん方に御意見、お考えをお伺いしたいと思います。今度の丸山地区は段階的な統合について検討していく、和田地区は段階的統合について検討しないということですが、こういった時に、会議の開催の仕方ですが、合同会議とするのか、あるいは、丸山地区の単独会議にするのか、皆様方がどちらがいいのか、合同会議のかたちで進めていくのがいいのか、あるいは特に関係の深い検討をする地区だけの委員の単独地区会議としていくのがいいのか、そのことについて御意見をいただきたいと思います。

委員 事務局案はございませんか。

事務局 ございません。

委員長 事務局案はないそうでございます。委員、先ほどの発言が関連していますからどうですか。

委員 私は特に意見という意見はないんですが、例えば、今、話を聞いていますと、丸山地区は段階的に進んで行くという考え方。

委員長 検討するという考え方ですね。

委員 和田地区は現状のままという意見が多かったと思いますが、段階的に検討するのは丸山地区でありますので、そこに和田地区の方に入っても、余り意味がないというような気もしますので、丸山地区の組織を作ってそれで検討していったらいいと思います。

委員長 ありがとうございます。委員の御意見は、関係する地区の単独会議でどうかという意見でしたけれども、ほかの方はどうでしょうか。

委員 今回の段階的統合に向けての検討会ということなんですけれども、将来的には5年後には4校統合というのが将来的目的になっていて、この段階の中で、南小と丸小が段階的な統合を進めていくということで、今後、2校の代表者の方、PTAの方々いろいろな意見を交わしていくのではないかなと思うんですが、和田の人たちも、やはりある程度はその辺のことを考えている方もいらっしゃるようなことも聞いておりますので、全部の方が御出席いただかないとしても、和田の方からも何人かの方にその進行状況を見ていただいて、自分の地区へトレースしていただく、そういうことも必要じゃないかと思っておりますので、全く丸山地区だけで単独の分科会のようなものを設けることはいかがなものかと思うんですけど。

委員長 ありがとうございます。今、お2人から御意見をいただきましたけど、ほかの方どうでしょうか。

事務局 委員長よろしいでしょうか。

委員長 はい。

事務局 ただ今の進め方についての御質問になりますが、和田地区と丸山地区それぞれに再編検討委員会を組織していただいております。段階的な統合につきまして検討をいた

だくことになる場合につきましても、地区ごとの検討委員会というかたちで進めていきますので、今、分科会という言葉をおっしゃったかと思いますが、そうではなくて、あくまでもこの検討委員会、単独であれば、丸山地区の検討委員会、合同であれば、双方の検討委員会に御出席をいただいた中で行うということになりますので、新たな組織、例えばPTA同士で相談をすとかそういうことではございません。あくまでも、学校等の統合の検討については、再編検討委員会をお願いするものでございます。

委員長 今、検討する場合の委員は、現在の検討委員で行っていくということでございますが、皆さんの方から御意見をいただきますと、こういうかたちの合同会議で進めた方が意義があるだろうというお話と、関係の深い所で検討していったらどうかという御意見と、今、ちょうど分かれてしまっているんですがどうでしょうか。和田地区の方で、どなたかお話いただけませんかでしょうか。和田幼小の委員、いかがでしょうか。

委員 和田幼小です。ちょっとまだこの4人で相談しているんですけど、完全に意見はまとまっていないんですけど、とりあえず4校という話はもう一番当初から出ていますので、まずそれを一番メインにおいて、1日も早く学校ができるという会議を一番優先していただきたいと思うんです。それで、その席で丸山は2校とありますので、できれば毎月1回、会議が決まっているようですから、事前に丸山の方は下話をしておいてもらって、その席で丸山はこのくらい進みましたよというのを、PTA単位で結構ですので、そういう話をしていただければと思います。私の個人的な考えで申し訳わけないですけど、そういう意見です。

委員長 ありがとうございます。合同でやっていったらどうかという御意見として受け取ってよろしいですか。

委員 はい。

委員長 皆さん、どうでしょうか。もう一人、二人御意見をいただきたいんですけど。南三原代表の方はいかがですか。

委員 はい、南三原幼小です。今、皆さんの意見をいろいろ聞いたんですが、先ほど教育長から5年後には新しい4校の学校を建設したいという、それはもう決定事項ということで話が進んでいますと。やはり和田幼小の委員が言ったように、4校統合に向けたすごい大変な会議になると感じております。クラスの再編、校歌校章、スクールバスの問題、用地買収等々、設計を含めてですけれども、私が懸念するのは、オリンピックがありますよね。そういった時に、大手のゼネコン、スーパーゼネコン辺りは、そっちの方に人力、資材等は持っていかれると思うので、今、話の中に出たように、富山の一体施設の建設が遅れているというそういう状況もありますので、実際、計画的には5年という計画ですが、それに間にあうように、その4小に向けた話を合同会議で進めていった方がいいと思いますので、そのために、丸幼小、南幼小はちょっと大変だとは思いますが、個別にですか、単体でちょっと話をまとめ上げてきてもらったものを、この合同会議の中で出していただくようなかたちを採ってもらった方がスムーズに進むのかなとは思いますが。

委員長 それでは、ただ今、何人かの方に御協力をいただきましたが、段階的な統合に関し

て特に関係が深いのが丸小の関係と南小の関係ですが、会議は合同会議でこの全体の会議の場で諮って行くという、段階的な検討をするけれども、全検討委員で取り掛かっていくというような合同会議ということでよろしゅうございましょうか。

委員 あくまでも、4小統合に向けた合同会議の中で、その段階的な統合の話を進めていくということによろしいですか。

委員長 それは、もうそうです。おっしゃるとおりです。

委員 主は4小だということですね。

委員長 ですから、合同会議の方がいいだろうということで。さっき他の委員からもいただきましたけどね。

委員 丸山地区ではまだ段階的にするという方向じゃないと思うんですね。まだいろいろ協議して検討という段階だと思うんで。これから協議をすると、まだはっきりとした答えが出ていないとおっしゃられたから、それはもう少し内容をまとめてもらった方がいいと思うんですよ。南小と丸小とで、もう少しアンケートが出ていると思いますけども、まだはっきりとした答えじゃないと思うんですよ。

委員長 もちろん。

委員 だからもう少し、さっき言ったように、和田地区から言ったように、本来であれば、すぐ一本化をやった方が、時間的なロスがなくて、効率的にいくわけです。段階的にというと2年、3年するとまたもう1回ですね、学校再編というのかな、しなければいけませんので、非常な労力がかかってくるわけですよ。できれば1回でやった方が私はいいと思うので、しかしながら、保護者の方が段階的などということ考えておりますので、それはそれで検討していただいた方がいいと思うんです。

委員長 それでは、検討委員会については、段階的な検討委員会ということで、もちろん4校の統合は前提ですけれども。

委員 和田地区の方は違う意見を持っていますので、それを合同でやるというのは妥当なのかなということは思いますけど。

事務局 資料1につきましては、前回会議の時にも「段階的な統合」ということを議題とさせていただいておりましたので、当然にそれではということで、来年度、仮に段階的な統合がある場合で、来年度からスタートするということを仮定して、先にお示しをさせていただきました。当然、なければ出さなくてもいい資料ですし、あくまでも来年4月に段階的な統合を行う場合の最短のスケジュールですので、何かがちよっとということになれば、当然ずれ込んで行くことはあろうかと思っております。すでに日付等も入れてこの頃ということを書かせていただいておりますが、また議題の次の「会議等の日程」にも掛かってくるかと思いますが、仮に段階的な統合がある場合、7月16日頃に地区説明会資料等を事務局側で準備し、この日程等に向けて進めていきながら、御協議をいただくと。それで、今、委員長にお諮りいただいているのは、その検討を進めるにあたっては、丸山地区の検討委員会で協議するのか、丸山地区、和田地区全体の合同の会議で協議をするのか、そういうふうに向っていらっしゃるかと思います。資料1につきましてはそのようなことで、もし、今後検討していく中で、来



年という目途であればこのような日程でいくのかなというものでございます。それと、ただ今の、あくまでも、両校のPTAの中でのお話は当然あるかと思いますが、再編に向けての検討委員会につきましては、丸山地区なら丸山地区単独か、和田地区合同か、そのどちらかになるかと思えます。よろしく願いいたします。

委員長 今、御説明をいただいたとおりでございますが、今のところは、丸山地区の2校に  
関しての段階的統合の検討を今後されていくと思えますけれども、その会議を丸山地区  
の単独でやるのか、あるいは全委員でやっていくのかということですね。

教育長 ちょっと、発言をしてもいいですか。委員が心配しているのは、全く白紙の状態、  
例えば丸小と南小でどっちの校舎がいいんだと白紙の状態で議論をすることはありま  
せんので、今日、丸小学校と南小学校が段階的な統合を検討するということになりま  
したので、次回の会議においては、私ども、両方の学校の要するに配置図ですよね、  
教室の数ですとか、子供がどういう状況にあるか、例えば南小から丸小に行った場合  
に徒歩で行く子が何人とか、バスで行く子が何人とか、逆の場合はどうなのかという  
そういう資料を出して、あるいは、さっきの安全・安心でいえば、海拔の問題、あと  
はもし南小でしたら、体育館の裏の道路に行けば15mですけど、その辺のところの  
安全・安心を含めてデータを出して議論をしていただくことになると思えます。もう  
一つの問題としては、丸山地区だけで単独で再編検討をしていくかということなんで  
ですけど、今、お話を伺っていて、事務局の案はあるかとあったんですが、当初はな  
かったんですが、皆さん方の意見、お話を伺っていて、やはり5年後に1校になるとい  
う共通の目標があるわけですので、和田の方々にはちょっと負担が掛かるかなという  
思いがあるんですけど、合同の場で協議していただく、その場合には先ほど資  
料2でお渡ししましたけど、余りスケジュールとはいえない、見通しとなっているわ  
けですね。全くの荒々で、今日の段階で出せるのはこの程度の内容でしか出せなかつ  
たわけですけど、これから議会で認めていただいたりとか、そういうことになってき  
ますと、新たな小学校、あるいは幼保一体施設について、その都度その都度、両方  
にお集まりいただければ、進捗状況について皆様方に報告をして、また御意見を  
いただくようなことができますので、大変後出しになってしまったんですけど、合同  
でやっていただければ私どもの方としても大変ありがたいというような思いを持っ  
ていますが、お諮りください。

委員長 教育長のお話でございますが、皆さん方にもお伺いを立てていたところですが、ど  
うでしょうか。この全検討委員が集まった合同会議で進めていくということによ  
りでしょうか。御賛成いただけますでしょうか。

委員 私も先ほど、その辺のことをお話したんですけど、もし和田の人たちが、そこに入  
られるのであれば一部の人だけでもと思いましたが、私の意見としては合同でやる  
のが一番いいと思えます。

委員長 教育長の言葉の中にも、和田地区の方々には場合によっては大変な御足労かなとい  
う御言葉一つありましたけども、どうでしょうか。合同でやっていただけるのでし  
ょうか。

(異議等なし)

特に反対がないようですので、合同会議で進めていただきたいと思います。よろしく  
お願いします。では、次に議題の2の方に移らせていただきますがよろしいでしょ  
うか。「(2) 次回の会議の日程について」を議題といたします。

委員 その前にちょっと質問があるんですが。

委員長 質問がある。

委員 はい。先ほどから事務局の方で答えている資料1の問題なんですけれども、今の段  
階では、委員の中で共有したのは、丸山地区の方で段階的再編をするかを検討するわ  
けですから、まだ決定しないわけですよ。そうすると、その話し合いの中でこのス  
ケジュール表は必要がなくなる可能性もあるということですよ。これはあくまでも  
まだ決定ということではなくて、案のままで保留にしておくということなんですよ。

事務局 資料1につきまして、スケジュールの案でございますので、決定ではございません。  
全体のスケジュールにつきましては、あくまでも案でございます。

委員長 今回の事務局からの説明になりましたけどよろしいですか。

委員 はい。

委員長 それでは、段階的統合を行うということと、それから、今後、合同会議を進めてい  
くということについては、皆さん方から御賛同いただいたことにしたいと思います。  
次に「(2) 次回の会議の日程について」を議題といたします。

事務局 次回の会議の日程につきましては、合同会議で開催するということが決定してい  
たきましてありがとうございます。日程につきまして、このスケジュール(案)の  
一番上に7月16日(水)頃、説明会資料を検討と書かせていただいておりますが、  
先ほど教育長が申しましたとおり、いろんな資料等を出ささせていただきながら、丸山  
地区の検討を始めるというかたちになろうかと思っております。そこで、この日程につ  
きましては、あくまでも来年4月1日を目途に書かせていただいたものになりますので、  
あるいは、当然何かで遅くなることがあろうかと思っております。その辺の検討も併  
せて入っていただく話になります。ですので、一刻でも早くという話になるのであれば、  
ほぼこのスケジュールでいかがでしょうかという話になりますし、いや、そうでないよ、  
急がないよというお話になれば、それはまたもう一年とかそういうことになるかと思  
います。いずれにしても、来年4月ということを考えて作らせていただいた資料  
ですので、会議の日程につきましては、7月17(木)ということで御提案をさせて  
いただいております。場所はこの場所であればと思っております。よろしくお願  
いいたします。

委員長 ただ今、事務局から次回の会議の日程についての説明をいただきました。今度の合  
同会議でございますけど、7月17日(木)午後7時から場所は丸山公民館において  
開催するということになりましたが、異議ございませんか。

委員 なに、そんなに急ぐんですか。今日やって、随分早いじゃないですか。

事務局 はい、ただ今申し上げましたが、あくまでも来年の4月1日、これを目途に検討に  
入っていくということであれば。

委員 ちよつと待ってよ。あれは決まってるんですよ。そんなに急ぐことないだろうよ。段階的な統合が決まってるのに、そんなに急ぐことないだろうよ。

事務局 資料1の説明でございますけれども、あくまでも、来年4月1日を目指した時に、ほぼこの日程で進めていただければという、一番最初の日程になります。したがって、これから検討に入っていただくわけですが、その状況によっては変わってくることもあるかと思えます。ただ、一つの案として来年4月1日を目指すのであれば、この日程でお願いできればという御提案でございます。

委員 統合ありきのような決定の仕方やってるから、何かおかしいんじゃないですか。事務局の方。

教育長 統合ありきということは、全く考えていません。先ほどから申し上げて。

委員 考えていなければ、来年4月がどうのこうのなんて言うなよ。本当に。

教育長 あの。

委員 考えてるじゃないかよ。

教育長 それは、委員の考えであって、もし、保護者の方が、来年の4月1日という選択をする場合にですね、これが遅くなっていったら、その選択肢がなくなるわけなんですよ。私どもとしては、来年4月1日も選択肢の中の一つ、もう一年後の4月1日も選択肢の一つ、いずれにしても最初の会議は可能性のある段階でやって、それで協議をしていただいて、もうちょっとかけよう、2年かけよう、3年かけようという結論でしたら、それはそれで結構なんですけれども、これを遅くしますと、物理的に来年4月はもうなくなってしまうということですね。ですから、最初の会議だけは、この段階でやらせていただきたいというのが私どもの提案です。

委員 来年の4月じゃなくてもいいんじゃないですか。

教育長 それは、皆さん方で協議をしていただく結果ですので。

委員 子供がかわいそうですよ。統合するということは。

委員 私は以前、丸小学校でPTA役員をしていたんですけども、資料を見てもらうと分かるんですけども、一番最初の年にもらった資料で、丸小学校はますますバランスが悪くなっているんです。来年は女の子が1人なんですけど、運動会来なかったですよ。

委員 幼稚園の話ですか。

委員 幼稚園です。多分、南小に転校する可能性もあるかもしれません。そうするとまた、男の子が5人になっちゃいます。その次も女の子が2人です。和田と違って、丸小は非常にバランスが悪いです。来年は男の子6人、女の子が1人。運動会に呼んだのに来ませんでした。もしかしたら、今の4年生と同じように、南小に転校してしまうかもしれません。そうしたらまた男の子だけのクラスになってしまいます。そういったこともあるんで、多分、丸小の方は急ぎたいというのがあると思います。私としては、ですからその辺を皆さんの方に協力していただきたいなと思います。

委員長 ありがとうございます。どうぞ。

委員 丸幼小の御意見として、御希望として、今の学年の4年生の男子ですかね、男の子

しかないクラスは。来年の4月に統合にならないければ6年生になって初めて女の子と一緒に過ごすようになるんですが、PTAの方から聞くと、やはり男の子ばかりの学年の子は、女の子とどう話していいかわからないという話になっているという噂も聞きますので、中学校に入る前には、少しは女の子と話す経験もあった方がいいんじゃないのかというのがありますので、丸小の希望を伺いたいと思います。

委員長           ありがとうございます。委員、お願いします。

委員           丸幼小です。私以外のところでいろんな意見が出て恐縮なんですけども、丸幼小の意見としては、特に、私としての意見ですけれども、考えなければいけないのは、4年生で、今、この案が出てきたのも、男女差が挙げられていますので、4年生のところを少し酌んであげなくてはいけないのかなと。それで、来年となると確かにスケジュール的にはハードになってくると思います。仮に来年統合となりますと、現4年生のクラスは、5年、6年と2年間南小の子供たちと一緒に過ごせるということになると思います。ただ、1年遅らせるとなると、6年生の1年間だけ南小の子たちと統合、一緒になることになると思います。ですので、先ほども言ったとおり、私もそうですし、PTAの父兄の方にも私からお話をしたんですけれども、2校が1校になることは決定ではありません。これから、そういう方向で検討していくという段階にいますということでお話をしておりますので、ちょっと話がまとまらないんですけれども、丸小としては、可能であれば早くにやっていただければありがたいと思います。

委員長           ありがとうございます。

委員           統合ということで決まったということですか。今日、決まらなければ、このスケジュールはおかしいでしょ。今日決まっていれば、このスケジュールでやらなければいけないというのはわかりますけども、統合が決まっていなければまだゆっくりでいいんじゃないですか。

委員長           この資料1の日程がありますね。日程表の上から何段目ですか、平成27年4月1日に、今のお話ですと、もう御存知でしょうけど、丸小と南小が何だかのかたちで段階的に。

委員           御存知じゃないですよ。今日、聞いたんだから統合になるっていうのは。

委員長           ですから、これはあくまでも、先ほど事務局からお話があったように、あくまでも予定なんだということですね。

委員           予定じゃないですよ。

委員長           ですから。

委員           統合ありきの話でしょうよ。

教育長           ちょっとよろしいですか。統合ありきとかそういう問題ではなくて、先ほども2名の委員から出ましたけど、安心・安全とか、子供の人数の問題とかいろんな要素があるわけですよ。そういったような問題を私どもは具体的に資料で出して、それを7月17日に協議をしていただいて、何が問題なのか、それを詰めていただいて、そこで結論が出てくると思いますので、これを今日の段階で全く子供の数も教室の数もわからない段階で統合するとかしないとか、それは結論出せないと思いますので、です

からその結論が出たとしても次回の会議を経て決まっていくことだと思いますので。

委員 それは駄目ですよ。統合ありきだから、もうこのスケジュールでいきますってことなんだから。

教育長 可能なら、統合ありきでやっていきたいということが保護者の方の御意見なんです。

委員 事務局が統合するっていうことでやっているじゃないですか。スケジュール組んで。

委員 和田幼小です。今のお話を伺っていると、統合ありきで話をしているというふうには私どもは理解していません、丸幼小の希望を酌んでこのスケジュールが出ている。言ってみれば、この7月17日にやるのかどうかも含めて検討するという方向で考えるということで、今、理解して聞いているんですけども、もしそこで、7月17日ではなくて、1か月後の8月11日になってしまうと、もしやろうと決めたとしても、4月に間に合わないというお話なんですね。ということですよ。

教育長 かなり厳しくはなってくるということですね。

委員 どっかで頑張っても無理なんですか。ということですね。

委員 去年から参加させていただきまして、先ほどの委員が段階的統合について、前回初めて聞き戸惑いを覚えましたという発言をされたんですが、私も全く同じでした。ただ私は去年から参加していて、丸小学校に、今、話されたような問題があって、そのことについて何とかしたいってことは度々出ました。4校統合がなければ2校だけでもやりたいんだというお話もあったんで、何とか理解できたんです。前回、私の周りの初めて参加した方々は、「何だ段階的統合って、私たちはこういう話をしにきたのか」ということで、非常な戸惑いがあったんです。「どうなっているんだよ」と聞かれたんです。私も初めてだよと、そういう話です。ですから、事務局の提案の仕方も、「丸小学校がこういう状況でこういう話があるんで、4校統合は決まっているんだけど、その中でこういうことについても話させてくれないか」というようなお願いをして、提案すべきだったと思います。それが前回の議題の中で、段階的な統合についてと書いてありまして、今日来たら、スケジュール案、私もびっくりしました。何も決まっていなくて何だよと思ったんですね。ただ、丸小の切迫した事情があればこの8月11日頃に説明会を開催できれば、来年の4月に間に合うんだよということで案として提示したんだと思います。したがって、8月11日頃にそれを開催するためには、我々が7月16日に説明会資料完成、17日あたりにやるかやらないか決めてあげないと、事務局も動けないだろうというふうに私は現在、解釈しております。

教育長 委員から17日ってありましたけど、この1回で決まってしまう方がいいんですけど、この会議で、1回で決まらなければ、もう1回会議を開くとか、そういう余裕がなくなっていくので、これは乱暴で、1回で結論が出るようなスケジュールになっていますけど、ですから1回で決まるということも100%ないわけですので、さっきお話した17日にやって、再度また1週間後にやってとか、そういったかたちになってくると、全てずれてきますので、とりあえずは、7月17日の初めの会議だけは、御了解をいただければ大変ありがたいと思っております。

委員長 今、教育長からこの日程をある程度御理解いただいて、一番上にある7月17日(木)

ということで、次回の検討委員会をここで開きたいということですが、いかがでしょうか。御理解をいただけませんかでしょうか。

委員（男性）異議なし。

委員長 特に御意見がないようでしたら、この7月17日（木）を次回の会議の日に決定したいと思います。よろしゅうございますか。

委員（複数）はい。

委員長 それでは、いろいろ慎重審議ありがとうございました。では、次回の会議よろしくお祈いします。以上で本日の議事は終了いたしました。傍聴の方は退席をお願いいたします。

（傍聴人退席）

それでは、「(6) その他」以降は事務局に進行をお願いいたします。

事務局 慎重な御審議ありがとうございました。事務局からは特にございません。皆様から何かございましたらお願いしたいと思います。

特別よろしいでしょうか。

（質疑等なし）

それでは、大変長時間に渡りまして慎重な御審議ありがとうございました。以上で第17回合同会議を終了いたします。ありがとうございました。

（閉会）